

編集人：ぶくぶくの会 〒564-0025 吹田市南高浜町1-17-2A (総務)  
TEL 06-6317-5598、FAX 06-6317-0936 Mail: so-mu@puku-2.com URL: www.puku-2.com  
代表：馬垣安芳 編集長：上田かおり 1部200円  
年間購読料：個人会員2000円 広報会員(3部)5000円  
法人会員1口(5部)10000円 賛助会員(1部)10000円  
振替口座00940-0-161341  
「まねき猫通信」



題字：  
塩澤 文男  
(しおざわ・ふみお)

特集：〈平等〉から〈対等〉への教育を-2  
リレーエッセイ：A型作業所勤務-轟広志-4  
新聞の作り方-政権と一体化するメディア-石塚直人 5  
「差別解消法」を使いこなそう-ふじばやし詠子 7

一九八四年八月二〇日第三種郵便物承認 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行



ねこのぶーたん  
絵：ゆうか (かなみのもり)

### トリの眼・ムシの目・ニャンコの目

厚生労働省は障がい年金の新しい判定指針を導入する方針だが、これに対して日本精神神経学会などで構成する「精神科7者懇談会」が『精神障がいに係る障害年金認定についての申し入れ書』を昨年11月に提出、その中で「年金を受給できなくなると障がい者は大きく動揺し、症状の悪化や意欲の低下につながる」と指摘した▲新指針が導入されると、現在1級の受給者のうち約56000人が2級に変更され、支給額が月額約81000円から約65000円へ減額される。また、現在2級の受給者のうち約23000人が3級へ変更となり、障害基礎年金受給対象外のため支給停止(月額約65000円から0円へ)となる。同懇談会によれば、現在「障害基礎年金」を受け取っている精神・知的・発達障がい者、約79万人のうち、1割に当たる約79000人が支給停止や支給減額の対象となる可能性があるという▲新判定指針導入の目的は、障がい年金の支給・不支給判定の地域差をなくすことであるとしながら、障がい年金を受給している人が受けられなくなることについては全く斟酌していない。いや、減額と支給停止が真の目的であることは明白である。生活保護費、児童扶養手当、高額療養費、障がい年金が、みな軍事費に使われる。これでも、アナタは自民党支持か? (ハギ)

# 差別解消法と合理的配慮を越えて <平等>から<対等>へ

インクルーシブ教育を考えるシンポジウム記念講演 障害者自立生活センター・スクラム 姜博久 代表理事 / 関西大学非常勤講師

4月の障がい者差別解消法施行を目前に控えた2月13日、「インクルーシブ教育を考えるシンポジウム」が、豊中市立中央公民館で開催され、姜博久さんが講演しました。「お互いを認め合う対等な関係こそ重要」と問題提起した講演の要約を紹介します。(文責・編集部)

2006年、国民教育文化総合研究所が主催する夏期研究集会のインクルーシブ教育分科会に招かれて私は、「これからの障がい児の教育は『障がい児教育』であってはならない」と問題提起をしました。あれから10年たった今日、あらためて、同様のことを言わなければならぬように思います。

同じ10年前の12月、「障がい者権利条約」が国連総会で採択されました。その後、民主党政権下で条約批准に向けた議論がはじまり、障がい者制度改革推進会議の提言をもとに障がい者基本法が改正され2011年、社会的障壁の規定、合理的配慮の必要性とそれを怠ること

は差別であるとする規定等が盛り込まれました。2013年には障がい者差別解消法が成立し、14年2月には障がい者権利条約批准。今年4月には、差別解消法が施行されることになっています。

この10年、障がい者運動は、国内法制の改革を伴った条約批准を訴えて障がい者制度改革推進会議の議論をリードし、地道な闘いを継続してきました。

その成果として、多くの課題が残されているとはいえ、障がい者基本法の改正、障がい者総合福祉法の施行、障がい者差別解消法の制定と施行は、社会における障がい者と非障がい者の平等化に向けた確かな前進であり、大きな力となることは間違いありません。

にあたって特別支援学校を自らの意志で選んだなかで語っている、次のような想いについてです。

地域の小・中学校で、私たちは「受け入れてもらえて」いた。遊びのルールも自分たちのために変えてくれたし、同級生から手助けしてもらいながら、一緒にやってきた。でも、自分

## 薄れる <他者>

電車で移動中、私が車いすで近づいても、床に置いたカバンをよけたり、その人が場所を変えたりしないことがあって、「あれ？」と感じることが度々ありました。地下鉄構内や車内では、「傘は危険ですので、お気を付けてください」とか、「混み合っている電車ではリュックを前にかけるなどご配慮ください」とか、注意を促すアナウンスが流れています。また、駅の通路の

スロープの壁には「混雑時には、車いすの方の通行にご配慮願います」とかの注意書きが貼り出されたりもしています。私は、こうした現象に出く

す。そのなかには「悪いな」とか、どこか負担をかけてるんじゃないかという感覚があった。…だから、高校は特別支援学校を選んだ。そこなら、自分でも（同級生）のために役に立つことができんじゃないかと思っ

たから…。 <平等>を求め、保障しようとしてきた学校教育が、五分

## エンパワメントって？

わすたびに、「そんなことへの配慮を促さなければならぬ社会になってきたのか」と感じ

てしまうのです。 <他者>が薄れ、それぞれの人の中に <他者>がなくなっているのではないのかと。

そして、さらに思うのです。この裏側で強調されているのが福祉教育としての「配慮」や「思いやり」ではないのかと。「弱い立場」にあるとされる人たちに對する一方通行の <道徳>や <倫理>が求められているのではないかと。



講演する姜博久さん



▲教師・行政・保護者など各現場からの発言を交えて、パネルディスカッションも行われた。

「悪いなあ」と躊躇したり遠慮

### ココロの不思議

何故か」ということです。その視点とは、権利の主体として、一人ひとりがどう「社会性」を獲得していくかということ

介助を受ける時、なんとなく「悪いなあ」と躊躇したり遠慮

「悪いなあ」と躊躇したり遠慮

「悪いなあ」と躊躇したり遠慮

して、やりたいことができないことがあります。人間は、意識の中に「他者」をつくり上げ

### それぞれの「他者」への向き合い

最初に触れた、特別支援学校の高等部への進学を自らの意思で選んだ障がい当事者の思い

最初に触れた、特別支援学校の高等部への進学を自らの意思で選んだ障がい当事者の思い

最初に触れた、特別支援学校の高等部への進学を自らの意思で選んだ障がい当事者の思い

注意すべきは、その自己信頼の獲得が「与えられる」立場であり続ける抑圧から解放されたう

「悪いなあ」と躊躇したり遠慮

「悪いなあ」と躊躇したり遠慮

「悪いなあ」と躊躇したり遠慮

に染み込ませていきます。さらに厄介なことは、「負債」に対する罪責感です。人間は

### デコボコだけど五分の関係を

「悪いなあ」と躊躇したり遠慮

「悪いなあ」と躊躇したり遠慮

「悪いなあ」と躊躇したり遠慮

います。その「他者」を変えられるのは、社会生活の中で出会う人たちとの関わりです。互い

「悪いなあ」と躊躇したり遠慮

「悪いなあ」と躊躇したり遠慮

「悪いなあ」と躊躇したり遠慮

一人ひとりの子どもたちが「対等」に向き合う教育です。その中でこそ、一人ひとりの子どもの中に新たな「他者」が生まれてくるのだと思います。